蟻通

楊貴妃

藤戸

八

津田文庫
文庫1
1764
7

早稲田大学圖書館藏書

第、

蟻通 曲出テ拍子口傳 位閑上ハヨリウキ立

ワ 佐文庫

和哥乃ふとみちはしてぞ
はしゆふ氣しん 罕詞 先ハこの門
らゆきゆくひが我まゝ此道にま
しまるとゆへぞもいまさ住者む
はしゆふ氣しぞ此程よ只と

010190605340

ぞ中にはもかくしをそうしをとめ
乃袖ぐ人をもくしもおもしくしろやか
朴のいも戸乃いかし代袖おもひ
おしまきくわくいうとうちんをもら
えんのもしめ　八乃うゑやう道
つゝも川乃をもら　朴乃よ千代

中
すかほよ人あつうして　巳いよ
くまり川まかし　あめほらひ
らをもしゆりしゆりの道と
そぞかほなまを　今ほゆき
りとしもれすゑのぐくゑゑなりん
と感する故おぼりますかをもゆり

る山かくれりしよる世中のがれに
ぬれわたる夜乃ぎしひる枕に薄と紙
き雛波は絵に成るとうこ和紙波
とそれどそふきうかく　実よと
まくるあらひとくがくうれまき
ふとうりしきしの乃ぐまねとれ

塩木をもとへはがせ丸様はなれ
夜乃浦山かけくもきしのうと
わまれよひ和ぐひきしあれに
はあくち鳥稀そと紙き　柳
山もきし乃浦と申しはぎひ志紙ゆ
へにも名紙うるぎくられとふ

[illegible]
[illegible]の浦ふりかへ
[illegible]
まつ[illegible]ふとこそ
[illegible]
のわさとそのぞ
[illegible]
風ぞまさりける
[illegible]
[illegible]
[illegible]

忠度

花の陰にやとり來乃行ゝ志ゝ
を發にかりくく　羊角　先々都に向り
つゝていかれ此る中さんと　上言　夕月
やくかけろふ乃ゝくゝとのゝ友よふ
むしろ鳥乃ゝ論見えぬいそやまの
よろれ花に猿稱志くゝ浦風まそ

もふ志くゝ喜にかきけや春もとれ
ぶと雨乃せきや乃ゝひひかくく
ゝ川しや為れ論に婆と返せ愛
乃うちぶむるゝ古へに雨よふ雨
よれ掴うりゞ中さん為にこんゝれ
うりかりくゝ來りうりぶるれ

六弥太と名て相さへぎとて刀は長
とうけしに 上同 六弥太ちらうとう御侍
より立寄りゞ上に御しまは忠度
乃ゞ右のうひかと打落せはだの御手
まて六弥太と名くなけのけ今は
かなりしとおしたくぞとのき給へ

人こよ西御りまんとのかひく光明
為んせう十方せらい念仏衆生せら
志あふしやと乃かひしゞ御乃下
よりもぐさりしやあへなくも六や
たゞちとぬれ物終に御くひと打か
ニ 六弥太ぬ御ふ様いたり

忠度

いとうしとさ（上キリ）ウ（ヤウハ）流れ也花の陰に立よ
りまひしとかく掴うりやさんとそ
目紙書しとゝめしなりゆへ（ヤウハ）ひ
よもわらし花は稀に絶なり我語
とひてしひまへぞけと撥の音とせ
い花とそあるしなりけれ

十四終

楊貴妃 曲出二ノ拍子 位閑 立

第一
来我まぐ志ゝれ（イ）ぬ（ト）ぬ（ト）く道を
いぼくとゝ為ん 呼討（下）
先ハ分語こゝ見ん
そうしてはいまうへやうし
すてハ梅も我君まつ事こゝ
こゞしく夜しまれ中れ色をお

楊遺

ぎよくひらにまし海とり　女四　何さう
ていろ使さハ何しに寝に来ましるぞさ
ぎさくのちやうとをしれきてぶれ簾
とりぎつて　罕　立おのふ作家　女　雲れ
びんぼら　罕　花れりほど　廿　廿さげさ
おほまなとれうちに液とうりへさ廿清べ

上高　アとくハ一両とおびさる粧のぐ　女
然きれぶようろ紅びようれ柳のみど
アとも見ようハいりぐ海さるべさ寝やうあ
きうれかんさいろがんしきりれなきし理
下　罕　アやくいにゆ上品。梅しちうき
う世ましくト時女にしおさ海川

（ナイ・トノ）遺

うつとうつ紀と梅をと

（ニ・ニ・ニ）

へさまなる称ざ

匂

だなるぐる仍乃乃人

菊

先注多月乃見

（ニ・ニ・ニ）

（ナレ）

わくはしたわそ

（ニ・ニ・ニ）

よ尾い世中に

（ニ・ニ・ニ）

（果月）

てうちんぐのぐ

（ニ・ニ・ニ）

も登うきひ云

（ニ・ニ・ニ）

菊

のへ

（中ニ・ニ）

出る我もみだ

（ニ・ニ・ニ）

（ト九・ニ）

（ト九・ニ）

（ト九

揚遺 上女

うき菅 去りまくもゆゑ生まじ恨あり

同

ことあり月の七月れ夜ぞかなせしむ川

おとのひよくまゐるの云れもまく

になりけめこそのぞれよの契りぞ

名ぞ御名ぞ御ひなるにぞ年月別

て猶ゆる世中にぞれ別のなりけるよ

も人をそひてましようまでも通え

れ云者定離ぞ定時ぞ社をれ侍

ワクイ うゐれ曲うゐれ世間まに

ぞ夜にぞあこぐ 上日 袖うちふまし

御ぬしやく 下女 忘しさ菅

れ抱くぼさば月日を揚り華

小鷹ノ[illegible]ハ[illegible]ハ　こ[illegible]（三字分）[illegible]ハ[illegible]て
ひゝ何[illegible]て　ひて[illegible]（ワキ）　見ノせハ年[illegible]け
[illegible]ひ[illegible]ま[illegible]と[illegible]とかり[illegible]
[illegible]せぬ[illegible]て[illegible]
[illegible]（シテ）[illegible]ぬせぬ[illegible]
[illegible]社[illegible]

それ[illegible]山ハ木賊ハ名所[illegible]名[illegible]
[illegible]ひ[illegible]貴[illegible]
かり[illegible]（ワキ）[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]
森ハ[illegible]（シテ）[illegible]社
ぬ[illegible]（ワキ）[illegible]ぬ[illegible]

只今乃至参ら候ハ
仰付られ候ハ
何時ニ而も罷参
いとやすく
とるまくハ
乃至ハ
いろ〳〵
小取ありて
酒と
ハ
ハ
ハ

木賊

十三

つれ捴と　シテ上　恋恨りやしやうやうハうらめ
やさ春色奇色うるはさ色子故
なれも色乃波のおれ立通り今　上ロ手地
一目父よしかし　ウヤ　山上ハ伺のつ
けまん我社ハ別しほ子拍子あるぞ
ふもとしむ涙ゟ　シテ上　女そや家子

といふつよおほつりなしやいつれ扱
別まし我子ゆくん　上地　小かり涙乃
おさろへぐ実それなるねる様と
能くこれはさうなふ　上地　親也ゟり
シテ上　子なりるそや　上同　恨めしやなとされ
こゝにゝ　ツレ　いどくふ色名家ゟ　ツレ　ねそとおふ　ロ　時さ

ひと目は目色よくは程よ。只今入
（たひ）
姫仕りは　秋津と（ん）此浪志行り
なる鴻めくり（ウ）く。松ふく風色の
とりまそ実（ニ）まめなる鶴かしけ
（レハル）
（ウ）松色なる浦つゝひぶちとは
（ハル）
まやく付よりく（ニ）（ニ）（ニ）（ニ）（早）いかに雅

（トモ）
かな　（トモ）清およは　（早）皆くそせう
あしんまるまは新出よと申
（トモ）
異くはいかに皆くしかに学
此浦乃清ぬしさ本夜の清入朝
まそまそ何事色そせうあしん
（ニ）
君は新出くと申
（ニ）（ニ）（ニ）（ニ）（ニ）
君乃陰ぞ

篠戸

藤戸

ことを迚のうれ[illegible]ある[illegible]と[illegible]子と同
しかにかしてこうせまへとぺめも[illegible]
ら[illegible]却まわひ[illegible]子へさせまへやと[illegible]
つゝ[illegible]れる[illegible]を[illegible]る仕[illegible]あり[illegible]れ
[illegible]寝やいぐ今の[illegible]そ[illegible]ひ[illegible]
まてあるそ[illegible]の[illegible]と[illegible]ひ[illegible]

しと也世に立ふしとるまてあるそがれ
まるやまゆりへいかれ非ろ[illegible]
まは[illegible]寝まは[illegible]ま[illegible]乃[illegible]ひと
あし[illegible]今の母と也[illegible]立ふしとるれ
てあるそ[illegible]申[illegible]付[illegible]へ[illegible]
ふし[illegible]法の[illegible]立[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

藤戸

[illegible]帰ひの[illegible]法乃[illegible]船よのりやすんで則
くせい乃毎ようへいとなれ掉さし引
て行程は生死乃海とまうりて私の
まいにやもとくと彼岸にいくて
れ岸に至りくて成仏とくらの男
と成ぬ成仏の男とそなりよ多れ

[illegible]終